

胃食道逆流症について

内科部長
伊海 英則

胃食道逆流症って、ご存知ですか？

胃酸が胃から食道へ逆流することによって、以下のような様々な症状が現れる病気です。

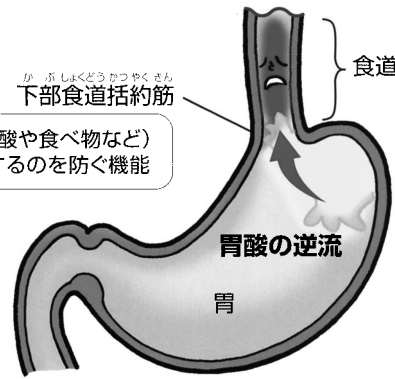
<定型的症状>

- ・胸やけ
- ・のどや口まで酸っぱいものが上がってくる
- ・食べ物のつかえ感
- ・胃のもたれ、はり感
- ・食後のムカつき
- ・胸や胃の痛み

<消化器症状以外の非定型的症状>

- ・のどの違和感
- ・長期間の咳、喘息症状
- ・口の苦味
- ・声がかれる
- ・耳の痛み

このような症状は、多くの方が経験したことがあるかもしれませんが、症状が長期に続く場合は、胃食道逆流症の可能性がります。



<原因>

胃と食道のつなぎ目にある下部食道括約筋が緩んで、胃酸や消化酵素(ペプシン)などが逆流し、これらの刺激に弱い食道粘膜が障害をうける事が主な要因です。

<起こりやすい特徴・体格・生活習慣>

- ・閉経後の腰の曲がった高齢女性
 - ・肥満体型の中老年男性
 - ・夜遅くに食事をする
 - ・油っこい物、甘いもの、刺激物を好む
 - ・食べて寝る事が多い
 - ・食べすぎ
 - ・前かがみの姿勢をよくとる
 - ・喫煙
 - ・ストレスが多い
- 症状に加え、上記特徴が当てはまる方は、一度医療機

関を訪れてはいかがでしょうか。診断は一般には、問診と胃カメラ(内視鏡)検査で行われています。

<胃食道逆流症のタイプ>

非びらん性胃食道逆流症：食道に炎症(キズ)がなく、症状だけの場合

逆流性食道炎：食道に炎症(キズ)がある場合

従来は胃カメラで逆流性食道炎がなければ、「神経的なもので問題ないですよ」と言われて治療が行われない事も多々ありましたが、実は日本人において非びらん性胃食道逆流症が半数以上を占めています。

では、治療はどのように行うのでしょうか。

<治療1 生活習慣の改善>

- ・油っこい物、甘い物、刺激物を控える
- ・食べすぎ、夜間の飲食を控える
- ・寝るときに上半身を高くする
- ・おなかを締付ける服を避ける
- ・長時間の前かがみを控える
- ・禁煙
- ・便秘や肥満に注意する

<治療2 薬物治療>

胃酸分泌抑制剤(プロトンポンプ阻害剤、H2受容体拮抗薬)が主に使用されます。多くの方が薬物治療により著明な改善を認めますが、特に非びらん性胃食道逆流症の中には、胃酸分泌抑制剤が無効な方も少なからずいらっしゃいます。担当の先生と相談し、自分に合った治療が受けられるようにしましょう。

逆流性食道炎

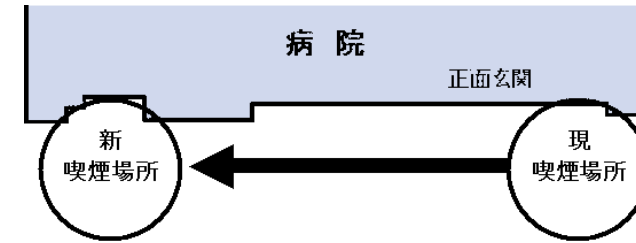
症状にかかわらず食道に炎症(キズ)がある人*



喫煙場所を移転します。

～ 受動喫煙防止のために ～

7月1日より、病院玄関付近にある喫煙場所を駐輪場付近へ移転いたします。



聖隷沼津病院では、健康増進法(平成14年8月制定)の定めにより、受動喫煙防止のため出入口付近での喫煙を禁止します。

今後も受動喫煙防止のために年内を目安に敷地内完全禁煙に向けて取り組んでいく予定です。

皆様のご協力、ご理解を宜しくお願いします。

創立60周年記念 写真展示を行います。

～「すべては焼け野原より始まった。」～

～1945年の大空襲により沼津は、焼け野原となった。須田病院(現法人の前身)も戦火により焼失した。須田寛作医師(初代院長)の長女：政子さん(二代理事長)のもとに米国留学時代の恩師ダンフォース氏より病院再興の資金寄附を得た。戦後初、民間個人同志の日米民間外交と当時注目を浴び、1950年に芙蓉病院として再興した。～

外来ブースにて当時の写真・新聞等で展示を行い、60年を振り返ります。また、HP上でも展示を行います。

事業企画室

